



PRESS RELEASE

新事業開発・アライアンス助成事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※（会長 向田 吉広：（一社）東北経済連合会 副会長）は、新事業開発・アライアンス助成事業において、4件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当センターでは、2017年に（一社）東北経済連合会が策定したビジョン2030「わきたつ東北」で掲げた「稼ぐ力を高める」の具現化に向けて支援を行うこととしており、本件は、募集要項で対象事業に掲げる「新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業」に該当するものとして採択したものです。

なお、同助成の採択件数は、今回の4件を加え、累計62件となります。

※（一社）東北経済連合会が2011年4月に設立した東北地域の産学連携や、企業のマーケティング等の事業化支援を行う支援センターです。

記

No.	支援先	支援テーマ	所在地
1	(株)イーアールアイ	Bluetooth5 の新機能によるスマートタグの高精度化	岩手県盛岡市
2	(株)小野寺鐵工所	まぐろ延縄漁業における自動投縄機用スナップ圧縮機の開発	宮城県気仙沼市
3	アンデックス(株)	ニュータウンにおける自動運転導入も考慮した今後の移動手段の確保について	宮城県仙台市
4	(株)鐘崎	水産練り製品用すり身の物性制御技術の確立	宮城県仙台市

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 木村、亀澤、西山
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
(一般社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-397-9098 Fax. 022-262-7055 <http://tokeiren-bc.jp/>



■(株)イーアールアイ(岩手県盛岡市、代表取締役 水野 節郎 氏)

- ・ 支援テーマ：「Bluetooth5 の新機能によるスマートタグの高精度化」
- ・ 支援期間：2019年4月～2020年3月
- ・ 支援先概要：(株)イーアールアイ
(設立：2003年5月8日、資本金：5,433万円、従業員数：56名)
- ・ 共同開発先：公立大学法人岩手県立大学
- ・ 業務内容：組込み機器の企画・設計・開発・製造・販売
- ・ 開発内容：IoT (Internet of Things:モノのインターネット) の市場が拡大する中、人やモノの位置情報が重要になってきています。しかし、GPS の電波が届かない屋内で位置情報を取得するためには、導入時に高価な装置の購入や設置のための電源工事が必要になり、運用時に電池交換・充電の手間がかかってしまいます。

(株)イーアールアイは2012年に世界初のスマートフォン向け Bluetooth ビーコン発信器を開発して以来、ビーコン発信器の技術を屋内位置測位に利用する技術研究を行ってきました。近年では生産・物流現場をターゲットに導入・運用の容易性が高い「スマートタグによる位置測位」の開発を進めています。

本事業では、Bluetooth5 の新しい機能を用いて精度や利便性を高め2020年に「スマートタグ」の商品化を目指します。商品化されれば、屋内位置測位のスムーズスタートを実現出来るようになり、生産・物流現場での人やモノの動きの見える化・効率化への貢献が期待されます。

＜本事業での取り組みについて＞

「Bluetooth5」で追加された機能を用いて、精度・利便性の向上に取り組み、導入も運用も容易な屋内位置測位デバイス「スマートタグ」の商品化を目指します。

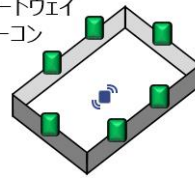
①スマホ型

固定局：ビーコン
移動局：スマホ



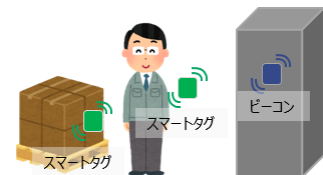
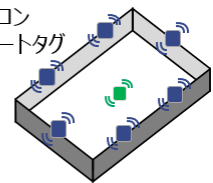
②ゲートウェイ型

固定局：ゲートウェイ
移動局：ビーコン



③スマートタグ型 **NEW**

固定局：ビーコン
移動局：スマートタグ



	導入の容易性	運用の容易性
スマホ型	○	×
ゲートウェイ型	×	○
スマートタグ型	○	○



■(株)小野寺鐵工所(宮城県気仙沼市、代表取締役 小野寺卯征)

- ・ 支援テーマ：「まぐろ延縄漁業における自動投縄機用スナップ圧縮機の開発」
- ・ 支援期間：2019年4月～2020年3月
- ・ 支援先概要：(株)小野寺鐵工所（創業：1949年12月、資本金：4000万円、従業員数：47名）
- ・ 共同開発先：トヨタ自動車東日本株式会社、気仙沼遠洋漁業協同組合、気仙沼市、宮城県北部鯉鮪漁業組合、日本かつおまぐろ漁業協同組合
- ・ 業務内容：船用機関・機器のメンテナンス、製品開発・設計他
- ・ 開発内容：気仙沼の基幹産業である漁業のうち、まぐろ延縄漁業において長時間を要す投縄作業を、現在の手作業から機械化へと転換するために、トヨタ自動車東日本(株)のこれまで培ってきたソリューション力を基に、小野寺鐵工所、気仙沼遠洋漁業組合、気仙沼市とともに連携して漁業の課題解決に取り組めます。

本事業では第1ステップである、「自動スナップかけ」の研究開発を目標として、スナップかけの圧縮技術の確立を目指すものです。また、その後のステップである餌かけ、投餌作業の自動化に向けた課題抽出に取り組めます。技術開発の最終目標は、これら一連の技術を統合した自動投げ縄機を目指しております。

自動投げ縄機を開発することで、乗組員の作業負荷の軽減と省人・省力化の実現を目指します。

<現状の課題>

これまでも自動化の取り組みはあったが、造船のタイミングで取り付けるような設備に近い物（船上のスペースもかなり取られる物）しかなく、しかも一度故障してしまうと、船上での修理が困難なものだったため普及には至らなかった。

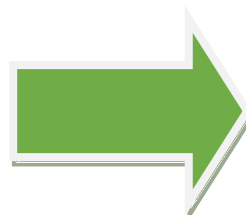
<本事業での取り組みについて>

本事業では以下のコンセプトを基に取り組む。

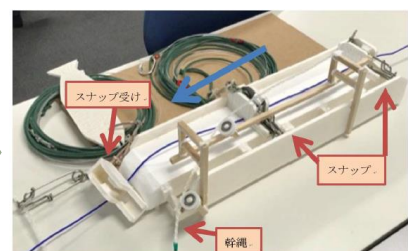
- ①壊れても、直ぐに直せるもの（複雑な制御を必要としない機構）
- ②壊れたら人が作業できる（機械と作業者が共存できるスペースの確保）



現 状



簡略化



本事業での取り組み（構想）

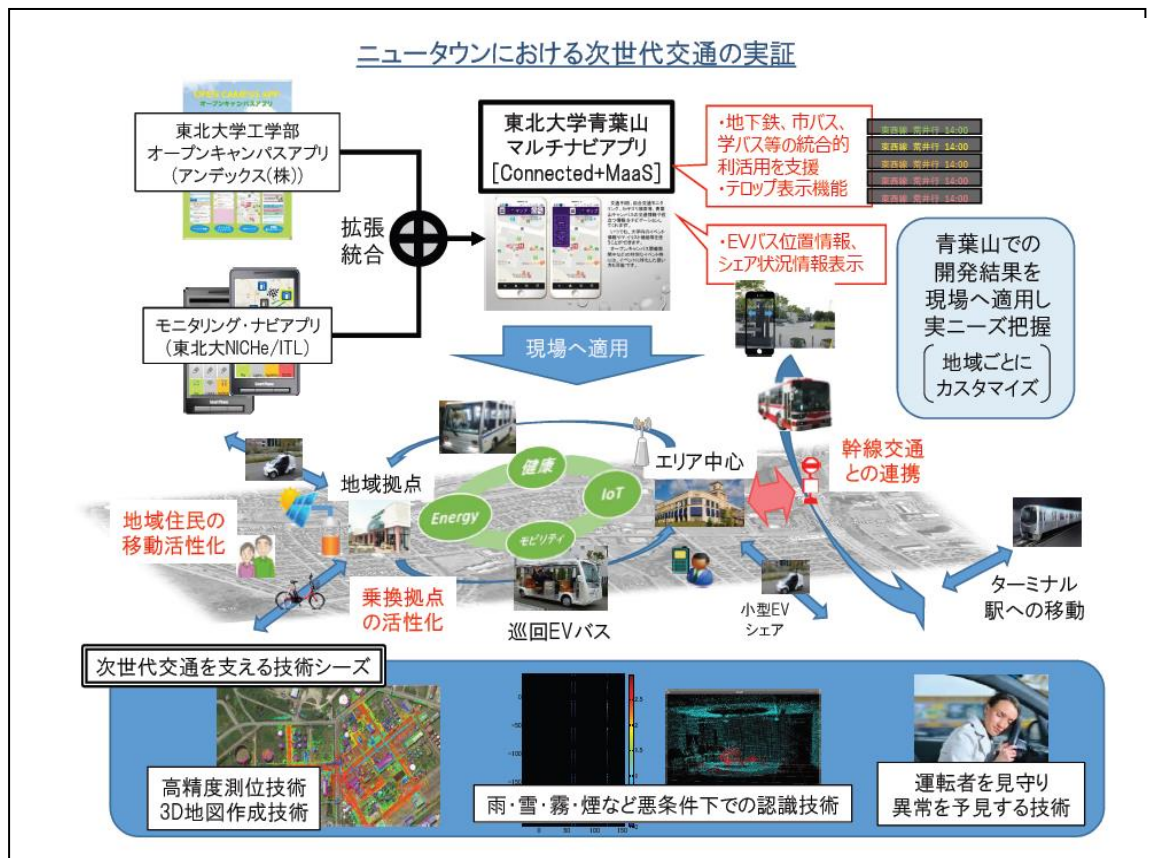


■アンデックス(株)(宮城県仙台市、代表取締役社長 三嶋 順 氏)

- ・支援テーマ：「ニュータウンにおける自動運転導入も考慮した今後の移動手段の確保について」
- ・支援期間：2019年4月～2020年3月
- ・支援先概要：アンデックス(株)（設立：2009年1月、資本金：600万円、従業員数：50名）
- ・共同開発先：東北大学未来科学技術共同研究センター、東北次世代移動体システム技術実証コンソーシアム
- ・業務内容：コンピュータソフトウェアの設計、製造、企画等
- ・開発内容：アンデックスが開発した、イベント・施設情報を提供する「東北大学工学部オープンキャンパスアプリ」と、東北大学未来科学技術共同研究センターが開発した「モニタリング・ナビアプリ」の、2つのアプリを拡張・統合した、「東北大学青葉山マルチナビアプリ」を共同で開発しています。

本事業では「東北大学青葉山マルチナビアプリ」を他地域にも展開するために、「東北次世代移動体システム技術実証コンソーシアム」と連携・連動して、共同でニーズの把握と課題の抽出を行い、機能の検討・拡充に取り組みます。

本事業で地域用のアプリが完成すれば、地域ごとにアプリのカスタマイズが可能となり、自動運転等の最先端技術と地域住民を繋げる役目を果たし、アプリを通じて地域住民の利便性向上が期待されます。





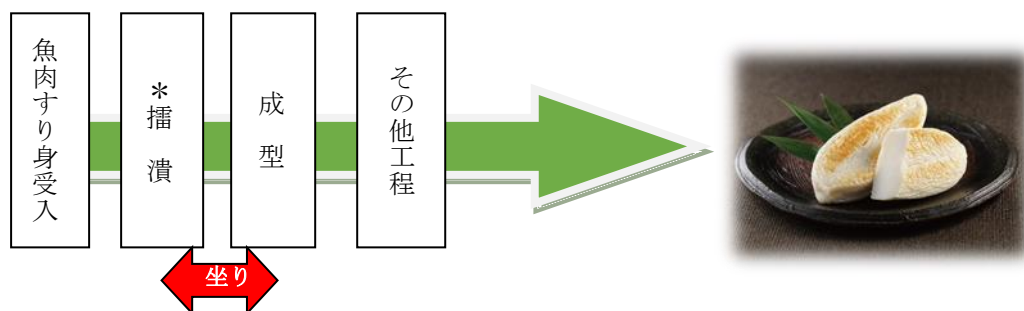
■(株)鐘崎(宮城県仙台市、代表取締役社長 嘉藤 明美氏)

- ・支援テーマ：「水産練り製品用すり身の物性制御技術の確立」
- ・支援期間：2019年4月～2020年3月
- ・支援先概要：(株)鐘崎（創業：1947年2月10日、資本金：8000万円、従業員数：約270名）
- ・共同開発先：東北大学大学院農学研究科
- ・業務内容：水産物の加工並びに販売、農畜産物の加工販売、食料品の販売
- ・開発内容：魚肉練り製品製造では、魚肉をすりつぶした後、かまぼこ特有の弾力のある食感を出すために低温加温する「坐り」（すわり）という工程が非常に重要です。「坐り」は、魚肉をすりつぶした直後から自然に進行するため、魚肉のすりつぶしに合わせて製造スケジュールを組む必要があり、計画的な製造の阻害要因となっています。

本事業では「坐り」の制御技術を確認し、「坐り」の進行時間を延長する（かまぼこ製造に適した状態の時間を延ばす）ことを目的に取り組みます。

本事業で技術が確立すれば、工場での生産性の向上やロスの削減に加え、工場外での加工も可能となることから、店頭でかまぼこに加工して販売するといった新たな販売方法の提案が期待されます。

＜播潰～成型の工程で「坐り」という物性変化が生じる＞



*播潰（らいかい）・・・魚肉すり身を播り（すり）潰す（つぶす）工程

「坐り」とは、播潰したすり身を常温放置もしくは低温加温することにより、弾力が生じる現象であり、かまぼこの弾力を出すために必要不可欠な性質。過剰に進行すると最終製品の品質に悪影響が出てしまい、食感が悪くなってしまいます。

＜本事業での取り組み＞

本事業では「坐り」の制御技術を確認し、「坐り」の進行時間を延長する（かまぼこ製造に適した状態の時間を延ばす）ことを目的に取り組みます。



< 参 考 1 >

◇過去の支援案件の紹介

No.	助成先	所在地	支援テーマ	研究期間
1	(有)ハード工業	青森県八戸市	高速燃焼流を用いる金属粉末の製造技術と装置の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
2	(株)コンド電機	福島県浅川町	2人乗り電気自動車の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東洋システム(株)	福島県いわき市		
3	秋田県産業技術センター	秋田県秋田市	WC-SiC 基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	(株)東洋ドリル	秋田県羽後町		
4	大堀相馬焼協同組合	福島県浪江町	大堀相馬焼における代替材料及び新規デザインの開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
5	(株)鈴木酒造店	福島県浪江町	山廃酒母からの有用微生物の分離選択と新商品開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
6	(株)宮城化成	宮城県栗原市	光透性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	産業技術総合研究所東北センター	宮城県仙台市		
7	東北文化学園大学	宮城県仙台市	特殊濾材を利用した放射能除染機及び濾材カートリッジの開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	(株)アイワ・コーポ	福島県郡山市		
	(株)リアルトリート	福島県石川町		
	暮らしの科学研究所(株)	福島県郡山市		
8	会津大学	福島県会津若松市	群れ引率制御による水田除草システムのための移動機構の開発	平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月
	玉川エンジニアリング(株)	福島県会津若松市		
	(株)メカテック	福島県喜多方市		
	(株)北日本金型工業	福島県会津若松市		
9	(株)弘前機械開発	青森県田舎館村	バーチャルスライド装置高速化に向けた微振動性新装置の開発	平成 24 年 3 月～平成 25 年 2 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
10	(株)カサイ	新潟県新潟市	局所的土壌除染技術システムの開発・実証	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	長岡技術科学大学	新潟県長岡市		
11	(株)東和	福島県本宮市	着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県郡山市		
12	石巻自動車関連集積部会	宮城県石巻市	香り長持ちインテリジェント芳香器	平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月
	(株)モリス			
	石巻専修大学			
13	あおり藍産業協同組合	青森県青森市	青森独自の染料化技術を核とする「あおり藍」ブランド商品の開発、製造	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	大和科学工業(株)	東京都江戸川区		
	青森県産業技術センター工業総合研究所	青森県青森市		
14	(株)パルメソ	新潟県長岡市	高効率発電用機器構造部材の微視損傷検出装置	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	東北大学大学院工学研究科	宮城県仙台市		
15	(株)クラー口	青森県弘前市	低消費電力型顕微鏡用高輝度照明の開発	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	(株)テクニカル			
16	(株)さんのう	宮城県仙台市	高性能な温調機能を持つ塗料の開発	平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
	(株)TS 塗装技術研究所	宮城県利府町		
17	理研食品(株)	宮城県多賀城市	海草麺の開発と商品化	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
18	(株)コムコム	宮城県仙台市	食用油酸化抑制装置『カラット君』の酸化抑制機能を向上させる新たな電極の開発・実証	平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		
19	アルバック東北(株)	青森県八戸市	アーク放電による新規ダイヤモンドコーティング装置の開発	平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月
	八戸工業高等専門学校			



20	(株)田村薬草農場グループ	福島県相馬郡新地町	甘草による家畜の免疫賦活作用による疾病の予防	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	NOSAI 宮城	宮城県黒川郡大衡村		
	北里大学獣医学部	青森県十和田市		
	日本全薬工業(株)	東京都千代田区		
21	ヤマカノ醸造(株)	宮城県登米市	秋田白神こだま酵母を利用した新しいドレッシングの開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	秋田県総合食品研究センター	秋田県秋田市		
22	(株)ディメール	青森県八戸市	冷凍棒寿司の再冷凍時の白蟻化防止法に関する研究	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	こむぎ工房			
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
23	(有)オйкаワデニム	宮城県気仙沼市	メカジキマグロを原料とした機能性動物性繊維の開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
24	神田産業(株)	福島県須賀川市	ハニカム構造ダンボールによる防音室の開発	平成 25 年 10 月～ 平成 26 年 9 月
	(株)VIBE	東京都品川区		
	産業技術総合研究所	茨城県つくば市		
25	金升酒造(株)	新潟県新発田市	六条大麦生産の再生と地域ブランド焼酎の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	新潟薬科大学応用生命科学部	新潟県新潟市		
26	(株)日本アカモクサイエンス	福島県郡山市	「泳ぐ宝石」錦鯉のためのサプリメント開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	小池獣医院	新潟県小千谷市		
	池田商店	福島県会津若松市		
27	三和油脂(株)	山形県天童市	米糠油の電気浸透圧搾製法の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
28	大丸カイエイ(株)	宮城県石巻市	汽水飼育ギンザケ「桜銀」の品質的優位性の立証	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	宮城大学食産業学部	宮城県仙台市		
29	(株)エムエステー	山形県天童市	加熱蒸気熱分解装置を活用した使用済み菌床の再生・利用検証と普及	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	齋藤きのこ園	山形県尾花沢市		
	農事組合法人水鳥	宮城県栗原市		
30	(株)会津技研	福島県西会津町	六価クロムフリー樹脂めっき	平成 26 年 6 月～ 平成 27 年 6 月
	日立マクセル(株)	宮城県亘理町		
31	NPO法人未来産業創造おおさき	宮城県大崎市	次世代型小水力発電ユニットの実用化及び製品化	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月
	(株)プロスパイン	宮城県大崎市		
	光電子(株)	宮城県大崎市		
32	(株)Heptech	宮城県塩竈市	ストッキング・タイツ等の着圧計測センサシステムの開発	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月
	東北大学	宮城県仙台市		
33	(株)toor	福島県三島町	車両搭載加速度センサーデータ可視化によるインフラ劣化診断技術の開発	平成 26 年 10 月～ 平成 27 年 9 月
	東北大学	宮城県仙台市		
34	マルイ鍍金工業(株)	青森県八戸市	ILC 加速空洞用新規電解研磨液の開発と条件最適化(高安全性、低コスト化)	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	岩手大学	岩手県盛岡市		
35	(株)倉元マシナリー	宮城県名取市	CFRP 補修用自動スカーフサンディング装置の開発	平成 27 年 3 月～ 平成 28 年 3 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
36	(有)ハニー松本	福島県会津若松市	高抗菌・高酸化・脱アレルギー蕎麦蜂蜜の調製	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学	宮城県仙台市		
37	(株)ユニバーサルトライク	宮城県仙台市	電動アシスト走行とEV 走行機能を併せ持つ“三輪サイクルモビリティ”の開発	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		
38	(株)TESS	宮城県仙台市	足こぎ車いす駆動時の生体情報計測装置「ペダル組込式重心動揺計による足圧測定装置」の開発	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	(有)モミックスジャパン	宮城県仙台市		



39	白神手づくり工房(有)	秋田県能代市	乳酸菌「白神ささら」を使用した商品の機能性の研究	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	秋田大学教育文化学部	秋田県秋田市		
40	(株)大武・ルート工業	岩手県一関市	ネジ径 0.5 mm未満対応のネジ供給機の摩擦特性の解明	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学多元物質科学研究所	宮城県仙台市		
41	(株)地球の恵	宮城県仙台市	100%天然由来原料で作る化粧品石けん	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
42	五光食品(株)	宮城県塩釜市	光照射乾燥法を適用した美味しい松島湾の牡蠣乾燥品の開発	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
43	丸友しまか(有)	岩手県宮古市	殻付牡蠣実入り計測技術の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	鶴岡工業高等専門学校	山形県鶴岡市		
44	東洋刃物(株)	宮城県富谷市	堅巻きトイレットロールもきれいに裁断する刃物の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
45	(株)Piezo Studio	宮城県仙台市	粘性溶液中バイオセンシングに適したセンサ素子の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
46	(株)県南衛生工業	宮城県村田町	ハザカコンポストを用いた硫化水素除去技術の確立	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
47	(株)コスメティック・アイーダ	宮城県亘理町	新規米ぬか発酵エキスを使用した化粧品の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	三和油脂(株)	山形県天童市		
48	アルテクロス(株)	福島県福島市	太陽光発電モジュール等用新規防草シートの開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県福島市		
49	(株)浄法寺漆産業	岩手県盛岡市	自動車内装部品の漆塗装に関する密着性の向上と製品化	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月
	岩手県工業技術センター	岩手県盛岡市		
50	(株)サンアイ精機	岩手県奥州市	切削用永久磁石式マグネットチャックの開発	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月
	岩手大学	岩手県盛岡市		
51	(株)C&A	宮城県仙台市	非イリジウム系難加工性合金の線材化技術の開発	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
52	(株)ソルテック	山形県米沢市	プレス曲げ加工カシメによる高強度で溶接不要な箱型形状コーナ部接合加工技術の開発	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月
	山形県工業技術センター	山形県米沢市		
53	(株)大豊	青森県青森市	ナマコ加工廃棄物を活用したヘルスケア商品の開発	平成 29 年 7 月～ 平成 30 年 6 月
	弘前大学	青森県弘前市		
54	(株)コスモスウェブ	宮城県仙台市	医療機器呼吸機能測定装置 量産設備の開発設計	平成 29 年 7 月～ 平成 30 年 6 月
	聖マリアンナ医科大学	神奈川県川崎市		
55	(株)カトーマロニエ	宮城県利府町	ホヤ殻・牛たん皮を用いた発泡ソフト食品の開発	平成 29 年 10 月～ 平成 30 年 9 月
	五光食品(株)	宮城県塩釜市		
	東北福祉大学	宮城県仙台市		



56	岩手製鉄(株)	岩手県北上市	ILCクライオモジュール架台用精密位置決め用アクティブムーバーの開発	平成 30 年 1 月～ 平成 30 年 12 月
	一関工業高等専門学校	岩手県一関市		
	(株)東邦テクノス	岩手県一関市		
	NECプラットフォームズ(株) 一関事業所	岩手県一関市		
57	(株)東光舎	岩手県岩手町	医療用ディスプレイ用ホルダーの開発	平成 30 年 4 月～ 平成 31 年 3 月
	産業技術総合研究所	茨城県つくば市		
58	(株)エンサウンド	岩手県盛岡市	音を触覚振動に変換した振動付きクッション型スピーカーの開発	平成 30 年 10 月～ 平成 31 年 9 月
	東北大学未来科学技術共同 研究センター	宮城県仙台市		



<参 考 2 >

新事業開発・アライアンス助成事業の概要

1. 目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北の企業が産学連携または産産連携により取り組む共同開発に対して助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。

2. 応募資格

(1) 企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

- ・代表開発者は、東北6県及び新潟県に拠点を置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であること。ここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。
- ・1社単独での研究ではなく、共同研究先が1団体以上あること。ここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す。
- ・新市場・新流通チャネル・海外市場への参入を目指し、雇用創出、工場増設、投資誘発効果、東北地域の関連企業への発注増加、株式公開に繋がる可能性が見込まれる事業を実施している企業が対象となります。

(2) 対象となる具体的事業

「雇用創出や新たに投資を誘発するなど地域経済に影響をもたらす成長事業」、「新規性など成長が見込める技術力を有する事業」、「異業種や大学などが連携して新しい価値を創出する事業」などのように、東北の「稼ぐ力を高める」ことに資する事業が対象となります。

具体的には次の項目となります。

- ① 農林水産業や観光産業、伝統産業等が東北域内で連携し、地域のブランドとして魅力を発信する事業
- ② 新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業
- ③ 東北の産業が域内外異業種等と連携し、新たな価値を創出する事業
- ④ 大学等の研究シーズを活かし、新たな価値を創出する事業
- ⑤ I L C、加速器関連プロジェクトに関する要素技術の開発に貢献する事業
- ⑥ 自動車、航空宇宙産業等のものづくり技術の進化に貢献する事業

3. 助成金額

原則として100万円とする。

4. 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

5. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年4回行います。

■申し込み先 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 (セントレ東北11階)

東経連ビジネスセンター TEL 022-397-9098/FAX 022-262-7055

以上